※令和３年度以前入学生用

| 学校番号 | 317 |
|---|---|

# 令和５年度　保健体育科

| 教科 | 保健体育 | 科目 | 体育 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 現代高等保健体育 改訂版　（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | 現代高等 保健体育ノート　（大修館書店） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てよう。

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。

・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。

## ２　学習の到達目標

・運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断 | c:運動の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康･安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 | 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。 | 運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。 | 選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。 |
| 評価方法 | 受講態度の観察<br>ノート<br>レポート<br>等 | ノート<br>レポート<br>等 | 技能観察<br>ノート<br>等 | ノート<br>レポート<br>等 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 体つくり運動・集団行動 | オリエンテーション<br>新体力テスト | ◎ | ○ | | ○ | a: :体つくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとすること、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。<br>b:ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。<br>d:運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 | 受講態度の観察<br>レポート<br>技能観察 |
| | 球技 ゴール型・ベースボール型 | 球技 ゴール型<br>サッカー<br>球技 ベースボール型<br>ソフトボール | ○ | ○ | ◎ | ○ | 球技<br>a:球技の学習に主体的に取り組もうとしている。フェアなプレイを大切にしようとしている。役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。健康・安全を確保している。<br>b:これまでの学習を踏まえて、チームが目指す目標に応じたチームや自己の課題を設定している。チームの仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。球技を生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。<br>c:ゴール型では、空間への侵入などから攻防を展開するための状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きができる。ベースボール型では、攻防を展開するための状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などの動きができる。<br>d:技術などの名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 | 受講態度の観察<br>レポート<br>技能観察 |
| | 水泳 | 水泳<br>平泳ぎ<br>背泳 | ○ | ○ | ◎ | ○ | 水泳<br>a:水泳の学習に主体的に取り組もうとしている。互いに助け合い高めあおうとしている。<br>b:これまでの学習を踏まえて、自己や仲間の挑戦する課題を設定している。<br>c:平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり早く泳いだりすることができる。背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり早く泳いだりすることができる。<br>d:技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。水泳に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 | 受講態度の観察<br>レポート<br>技能観察 |

※令和３年度以前入学生用

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 水泳 | 水泳<br>平泳ぎ<br>バタフライ | ○ | ○ | ◎ | ○ | 水泳<br>a:水泳の学習に主体的に取り組もうとしている。互いに助け合い高めあおうとしている。<br>b:これまでの学習を踏まえて、自己や仲間の挑戦する課題を設定している。<br>c:平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり早く泳いだりすることができる。バタフライでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。<br>d:技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。水泳に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 | 受講態度の観察<br>レポート<br>技能観察 |
| | 球技 | 球技<br>ベースボール型<br>ソフトボール<br>ネット型<br>バレーボール<br><br>球技　ベースボール型<br>ソフトボール<br>ゴール型<br>ハンドボール | ○ | ○ | ◎ | ○ | 球技<br>a:球技の学習に主体的に取り組もうとしている。役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。健康・安全を確保している。<br>b:これまでの学習を踏まえて、チームが目指す目標に応じたチームや自己の課題を設定している。チームの仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。球技を生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。<br>c:ネット型では、空いた場所をめぐる攻防を展開するための役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きができる。ベースボール型では、攻防を展開するための状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などの動きができる。ゴール型では、ゴール前への侵入へのなどから攻防を展開するための安定したボール操作と空間をつくりだすなどの動きができる。<br>d:技術などの名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 | |
| | ダンス | ダンス | ○ | ○ | ◎ | ○ | ダンス<br>a：ダンスの学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b:取り組んできたグループや自己の課題を見直している。<br>c：個や群で対極の動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現して踊るための動きができる。<br>d:交流や発表の仕方について、学習した具体例を挙げている。 | |

※令和３年度以前入学生用

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 球技（ゴール型、ネット型）、球技（ベースボール型、ゴール型） | 球技　ゴール型<br>ラグビー<br>ネット型<br>バレーボール<br><br>球技　ベースボール型<br>ソフトボール<br>ゴール型<br>ハンドボール | ○ | ○ | ◎ | ○ | 球技<br>a:球技の学習に主体的に取り組もうとしている。役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。健康・安全を確保している。<br>b:これまでの学習を踏まえて、チームが目指す目標に応じたチームや自己の課題を設定している。チームの仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。球技を生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。<br>c:ネット型では、空いた場所をめぐる攻防を展開するための役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きができる。ゴール型では、ゴール前への侵入へのなどから攻防を展開するための安定したボール操作と空間をつくりだすなどの動きができる。<br>d:技術などの名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 | 受講態度の観察<br>レポート<br>技能観察 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。